

風水害の対策は、日ごろからの心かかけを！

水害への備えは日ごろからの心構えが大切です。

①天気予報や気象状況に気をつける



梅雨期や台風シーズンなど、洪水が起こりやすい時期には、テレビ・ラジオ・新聞の天気予報に注意し、天気の移り変わりに気をつけましょう。

②非常食や持ち出す物などを準備しておく



非常食には、調理の手間がかからず、水もあまり使用しないもの（レトルト食品や缶詰）を3日分程度を選びます。また懐中電灯やラジオ・乾電池も忘れずに用意しておきましょう。

③大雨や台風に向けて、家のまわりを点検・整備しておく



家のまわりに吹き飛ばされそうなものはないか、雨戸や雨ドイなどは痛んでいないか確認しておきましょう。また家の前の排水溝がつまっていないかなどの確認も必要です。

④避難場所や避難路を確認しておく



自分の地区の避難場所はどこなのか、そこへ安全に行くためにはどう行けばいいのかを確認しておきましょう。

⑤一人暮らしのお年寄りなどには心配りを



自分の家族や住まいだけでなく、地域全体にも目を向けましょう。特に一人暮らしのお年寄りや病気の人たちには、普段から心配りが必要です。

風水害の危険な前ぶれに注意！



土石流

- 山鳴りがする
- 雨が降り続けているのに、川の水位が下がる
- 川の流れが濁ったり、流木が漂ざり始める



地すべり

- 地面にひび割れができる
- 沢や井戸の水が濁る
- 斜面から水がふき出す



がけ崩れ

- がけからの水が濁る
- がけに亀裂が入る
- 小石がバラバラ落ちてくる

ふだんから川やがけの様子を気にかけておきましょう。もし、雨が続けている間や雨上がりに、ふだんとは違う状態に気づいたら、近所の人にも呼びかけて注意し、危険を感じたら速やかに避難しましょう。また、防災関係機関にも通報しましょう。

そのほかにも、雨量が1時間に20mmを超える場合や、降り始めからの雨量が100mmを超える場合は、特に注意しましょう。

避難するときの注意！

正確な情報の入手が大事です。避難の前にはしっかりと準備し、消防署や警察署、水防団などの指示に従い家族の安全を確認しながら避難しましょう。

①高い位置の道路を通りましょう



避難にはできるだけ高い道路を選び、浸水場所があった場合は、溝や水路に十分注意しましょう。またがけ地などでは土砂災害に注意しましょう。

②車での避難は控えて



車での避難は、緊急車両の通行の妨げになります。また交通渋滞をまねき、浸水すると動けなくなります。特別な場合を除いて、徒歩で避難するようにしましょう。

③速やかに避難しましょう



避難勧告などは、危険が迫ったときに出されますので、速やかに避難しましょう。避難の際には、警察などの指示に従いましょう。

④お年寄りなどの避難に協力を



お年寄りや子供、病気の人などは、早めの避難が必要です。近所のお年寄りなどの避難に協力しましょう。

愛南町の土砂災害危険箇所は！

土石流危険渓流				急傾斜地崩落危険				地すべり危険箇所
人家 5戸 以上	人家 1~4 戸	人家 なし	計	人家 5戸 以上	人家 1~4 戸	人家 なし	計	
216	80	0	296	135	165	83	383	0

土砂災害危険箇所は、トップページのリンクページ「えひめの防災・危機管理」の土砂災害危険箇所マップメニューから閲覧できます。